

Book reviews

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053401

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



新刊紹介

○ 木村全邦・佐久間大輔：大阪府の蘚類 —中島徳一郎蘚類コレクション— B5 判, 66 頁, 付録 CD. 2008 年 3 月 31 日, 大阪市立自然史博物館, 1,500 円.

本書は, 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第 40 集として刊行され, 中島徳一郎コレクションを中心とした大阪市立自然史博物館所蔵の蘚類コレクションの中から, 大阪府産の標本をまとめたものである。標本は 7,700 点で, 47 科 161 属 348 種 6 亜種 19 変種 2 品種であるという。

本は, 目次, 中島徳一郎コレクションと大阪府の蘚類, 大阪府の蘚類 (分類群と産地ごとの標本のリストアップ), 近畿地方におけるコケの調査 コケと人生との関係, 中島徳一郎先生の想いで, 中島徳一郎氏著作目録, 付録 CD について, からなる。

大阪府は山野が少ない上に, 都市化が進み, 蘚苔類の少ないところである。そこに 350 種弱が存在する。標本に裏付けられたリストは利用価値があり, 特に後年フロラの変化を調べる時に基準データとなる。

購入希望者は, 大阪自然史センター (〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-12 TEL 06-6697-6221 E-mail tomonokai@mus-nh.city.osaka.jp) に問い合わせるとよい。(鳴橋直弘)

○ いがりまさし：開花順 四季の野の花図鑑 菊判, 389 頁, 2008 年 4 月 25 日, 技術評論社, 2,499 円.

「日本のスマイル」, 「日本の野菊」(いずれも山と溪谷社)において写真家としての技量は言わずもがな, その植物分類学に対する力量が極めて高い評価を得た著者が, これまた評価の高いネット図鑑「植物図鑑・撮れたてドットコム <http://www.plantsindex.com/>」で培った経験を存分に発揮した図鑑を出版した。目次は花色, および索引として和名と学名とで牽けるようになっており, 対象はおおよそ 700 種。その本文は, なんと, 二十四節季毎に区切られている。季節季節にどのような自然と対しているのか, 単に四季ではなく, 二十四節季に分けて感じとれるように工夫したところが著者の面目であろう。そして, 各種については科名, 属名, 和名 (漢字表記も), 学名が明記され, 解説とは別に開花期や分布, 大きさ, 環境, 生活型などが記されている。中級者向けの図鑑ですらほとんどの場合, これらの情報のうちかなりが省かれていて, 知りたいことや波及して調べたいことがある時など, 野外で非常なストレスを感じることが多かったが, この図鑑では基本的にそれがない。また解説では単純な記載は捨て, むしろより近縁種との比較に力点が置かれているのも嬉しい。そして勿論プロの写真が的確に掲載され, ほとんどに花の拡大などポイントとなるものが付加されている。野山に出かける時のとりあえずのバイブルと言っても過言ではない。(植田邦彦)

○ 富田幹夫：君に見せばや 一特産植物探索記— A5 判, 190 頁, 2008 年 9 月 27 日, ほおずき書房, 1,575 円.

著者は富山で大学時代を過ごし, その時にエッチュウミセバヤを発見して後にこれを新種として植物研究雑誌に発表した。その発見の経緯は日本多肉植物の会ベンケイソウ科研究部会の会報『ベンケイそう』創刊号に掲載されているが, 一般の目に触れにくい雑誌であるため, ほとんど知られていなかった。本書の第 3 章は, この報告の再掲をはじめ, 特に著者の思い入れの強いミセバヤ類に関する 7 編から成っている。本のタイトル『君に見せばや』も, ミセバヤの和名の語源に因んで付けられたものである。この仲間に興味のある方にはお薦めの書籍である。紹介の順番が逆になったが, 本書は, 著者が所属する同好会の会誌に 22 年間で掲載された植物探索記を取りまとめたもので, 第 1 章は北岳のキタダケソウ, 鳳凰山のホウオウシャジン, 東海地方のハナノキなど固有・特産植物を取り上げた日本国内の 20 編, 第 2 章はアメリカ西海岸のジャイアントセコイアやアルプスのエーデルワイスなど海外の 8 編で構成されている。記録が詳細で植物についての解説もあるので, 読者は誌上でこれらの特性を理解しながら植物探訪を追体験することができる。冒頭に探索地の位置図, 巻末に植物種の索引や参考文献が掲載されているのも参考になる。(中田政司)

○ 金井弘夫 (著) 大場秀章 (編)：金井弘夫著作集 菊判, 867+ v-xxxii 頁, 2008 年 9 月 30 日, アボック社, 14,286 円.

本書は, 今までに発表された金井弘夫先生の著作集である。ただし, 未発表稿の追加と学術論文の割愛がある。

本は, 第一部 時代の記憶・探検の記憶, 第二部 植物の観かた・残しかた, 第三部 ナマエ・データ・ヒト, 第四部 書を評す, からなる。第一部に関するカラー写真が 16 頁, 口絵としてある。

第一部のインド・ネパール・パプア ニューギニアでの植物採集やその地の事情の話は面白く, その当時の

学術調査の様子が窺える読み物である。野外での植物の観察、室内の実験、有毒植物への挑戦など、と標本作製、特にラベルと台紙へのマウントは第二部にあり、金井先生のオリジナルが随所に出ている。金井先生の東京大学での修士課程のテーマは「愛鷹山の植物」であり、博士論文のテーマは「日本ヒマラヤ要素の植物地理学的観察」であった。先生はフロラの研究をなさり、本の中の先生の行動記録によれば、1956年の北海道旅行から始まり、1958年は九州へ、1960年は外国へと植物調査での外出記録の多さに圧倒される。その結果の一部は、1958年の『日本種子植物分布図集』第1集、1959年の同第2集として結実した。その後も先生は植物の分布に研究の多くを費やされ、分布図をいかに作るか、地図や地名をどうするか、コンピューターを使ってそれらを処理できないか、などに精力を注がれた。1981年に『日本地名索引』を、その後『ヒマラヤ地名索引』、『新日本地名索引』、『地名レッドデータブック』を上梓された。これらの業績から、1973年に第1回地名研究賞を、1995年に日本家系図学会丹羽記念学術賞を、1996年に吉川英治文化賞を受賞されている。これらの分布に関することについて、第三部で書かれている。第四部は書評を集めたもので、この中には未発表のものも含まれている。これらの書評は、地図・地名、学名・用語など、フィールドワーク、人、文化、地域フロラ、調べる、洋書、と項目別に分けられている。多数の本が取り上げられているので、十分に書籍を持たない我々にはどのような内容の本かが分かって便利が良い。

出生からの著者年譜、1945～2007年の62頁にわたる行動記録、および学術論文等の著作一覧があり、この本は金井弘夫先生を知ろうとする人には無くてはならない本である。(鳴橋直弘)

○ 青木 実・日本きのこ同好会 (著) 名部みち代 (編) : 日本きのこ図版 全六巻 B5判. 2008年10月31日. 日本きのこ同好会 2. 1セット 75,000円 (送料別).

第1巻 ヒラタケ科・ヌメリガサ科・キシメジ科 816頁+索引 i-vi. 第2巻 テングタケ科・ウラベニガサ科・ハラタケ科 740頁+索引 i-v. 第3巻 ヒトヨタケ科・オキナタケ科・モエギタケ科 813頁+索引 i-v. 第4巻 フウセンタケ科・チャヒラタケ科・イッポンシメジ科 850頁+索引 i-v. 第5巻 ヒダハタケ科・オウギタケ科・イグチ科・オニイグチ科・ベニタケ科・ヒダナシタケ類・腹菌類・キクラゲ類 795頁+索引 i-v. 第6巻 子囊菌類 (チャワಂತケ目・ピョウタケ目ほか)・粘菌類 388頁+索引 i-ii+総索引 i-xxvi.

本書は、スケッチ風の図と解説からなる日本産きのこの図版集である。文と図はすべて手書き印刷である。

日本きのこ同好会は、青木 実氏と吉見昭一氏によって1967年に設立され、同会作成による日本きのこ図版はNo.1127までが1981年3月まで会員に配布されていたという。その後、青木氏個人により、No.2172まで作成された。2006年、『日本きのこ検索図版』(青木 実著)が日本きのこ同好会2によって発行されたことをうけて、今回、日本きのこ図版が名部みち代氏によって、整理・編集され、発行となった。

図版ごとに、和名、学名、全体図、顕微鏡による拡大図、解剖図があり、各部分の解説が書かれている。拡大図には倍率が入っている。多いものでは、図が2頁、解説文が2頁に及ぶ。まれにグループの検索表がある。色素では、化学薬品による反応結果まで書かれており、採集地や関連文献まで出ているものもある。新称や学名の付いていないものがあり、今後分類学者によってそれらのきのこが解明されていくことだろう。青木氏のきのこに対する情熱が伝わってくる本である。きのこに興味を持つ人の参考となる良書である。購入希望者は名部みち代氏 (〒651-2226 神戸市西区桜が丘中町 2-2-1 E-mail forest@phoenix-foundation.jp) までメールかハガキで問い合わせるとよい。在庫終了後、追加募集の際は頒布価格が若干上がる由。(鳴橋直弘)